

よいことのために
手を取りあおう



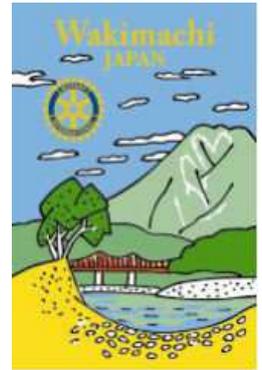
脇町ロータリークラブ

第2670地区

徳島第2分区 脇町ロータリークラブ

2025年9月4日(木)

第9回例会 No.2944



会員総数:38名 出席人数:26名 修正出席者:29名 修正出席率:76.3%

◎メイクアップ

8月27日 パリRC : 古川会員

8月30日 短期交換派遣プログラム : 遠藤会員

9月 2日 徳島西RC3クラブ合同公式訪問例会 : 遠藤会員

◎会長挨拶

須藤会長

皆さま、こんにちは。

先日、遠藤ガバナー補佐が西村会員と藤原会員に随行してもらって徳島南ロータリークラブへ訪問していたことがInstagramに上がっておりました。

クラブのホームページを皆さんもご覧になってみてください。

その中で遠藤ガバナー補佐が徳島南ロータリークラブの取り組みをコメントされておりましたので少し紹介をさせていただきます。

訪問を通じて強く感じたのは、会員同士のつながりを非常に大切にされているということです。特に感銘を受けたのが、「出席率向上」に向けた取り組みです。

仕事やご家庭の事情で例会を欠席せざるを得ないことは、どのクラブでも起こりうることです。

徳島南ロータリークラブでは、そうした会員に対し、出席しやすい夜間例会を設けるなど、柔軟に対応されていました。また、記念すべき第2500回の例会では、1週間前からメイクアップを呼びかけ、全会員の100%出席を達成されました。

その努力には、クラブの一体感と、「誰一人取り残さない」という仲間への心遣いが表れていたと感じます。

会員基盤の安定は、私たち脇町ロータリークラブにとっても重要なテーマです。

「徳島南RCの皆さまの取り組みを参考に、今後のクラブ運営にも活かしてまいります。」と遠藤さんがコメントされておりました。

このコメントを読んでわたしも脇町ロータリークラブでも参考に出席率の向上、会員同士のコミュニケーションの強化を図っていきたく強く思いました。

ガバナー補佐としての各クラブの訪問の中でたくさんの方の話を聞いてこられた遠藤さんに時間を作ってもらい、クラブの参考になるようないい話をたくさんお聞きしたいと思いますのでよろしく願いいたします。

本日も有意義な例会となりますようよろしくお願いいたします。

◎幹事報告

細川幹事

到着週報 鴨島RC 洲本RC 阿波池田RC 美馬RC

到着書類

報告事項

- ・米山奨学金及び学友証明書が 米山奨学生 ティン君に贈呈されました
- ・9/6 地区クラブ活性化セミナー：
参加者（須藤会長、遠藤会員、鉄野会員、細川会員）

連絡事項

- ・次週、ゲストで
美馬はりまや「有限会社 伍代」石川和生様がお越しになります
- ・例会終了後に理事会を行います

※9/11 ガバナー補佐訪問
※9/25 ガバナー公式訪問

◎委員会報告

親睦委員会

山本

9月誕生日

宮本会員、田北会員、木下会員

奥様誕生日

香西会員、武田会員、細川会員、藤原武志会員、木下会員

結婚記念日

六車会員

卓話

ファンフォーム・
ティン君

私は2001年9月11日、ベトナム南部ビンロン省に生まれました。

現在、四国大学生生活科学部デザインコースの4年生として学んでいます。

多くの人に「なぜ日本に？」と聞かれると「アニメが好きだから」と答えることが多いのですが、実はそれは表向きの理由です。本当の理由は、もっと深いところにありました。私が中学2年生の時、母が病気で亡くなりました。それまで母と二人で生活していた私にとって、この出来事は人生の大きな転換点となりました。その時強く思ったのは「自分の力で生活していきたい」ということでした。高校で日本語を学び始めた時、先生から「日本ならアルバイトをしながらでも学費と生活費を自分で賄える」という話を聞きました。それが、憧れの日本で自立した生活を送りたいという私の決意を固めるきっかけとなりました。

私の故郷ビンロン省は、徳島によく似た田舎です。メコン川のほとりに田んぼと果物畑が広がる美しいところで、マンゴーやドラゴンフルーツなどのトロピカルフルーツが豊富に採れます。興味深いことに、地元で一番大きな橋は日本が建設したもので、地元の人々は皆日本に深い敬意と憧れを抱いています。この橋を見るたびに、日本という国への親近感が湧いていました。おもてなしの心を大切にする故郷の文化も、日本の文化と通じるものがあると感じています。

四国大学でグラフィックデザインを学ぶ中で、私は「友達との思い出を絵にすること」をライフワークとするようになりました。日本で出会った様々な国の友達との瞬間を絵に残し、その絵を相手にプレゼントすることで、お互いの絆を深めています。「一期一会」という日本の言葉を知った時、まさに自分が大切にしたいと思っていた価値観だと感じました。出会いを大切にし、その思い出を形に残すことの意味を日本で学ぶことができました。

昨年からはじめた徳島の伝統工芸・藍染めは私の人生に新たな彩りを加えてくれました。外国人として日本の伝統文化を学び、実践していることに深い誇りを感じています。これまでの3年間は、学費と生活費のためのアルバイトに追われ、本当に時間に余裕がありませんでした。カレー店、ユニクロ、日本ハムでの通訳、国際交流協会での仕事など複数のアルバイトを掛け持ちする日々でした。しかし、奨学金をいただいてから私の生活は大きく変わりました。初めて「大学生らしい生活」を送ることができるようになったのです。サーフィンを始め、ボランティア活動に参加し、友達とバーベキューを楽しむ時間も持てるようになりました。何より大切なのは、自分のためだけでなく他の人のための作品作りや活動に時間を割けるようになった事です。大学の国際交流イベントを企画したり、より多くの人に藍染めの魅力を伝える活動を続けることができます。来年春からは社会人として新たなスタートを切ります。これまで日本で学んだデザインのスキル、そして徳島の伝統文化への理解を活かして、日本とベトナムの架け橋となるような仕事をしていきたいと考えています。また、これからも徳島の魅力を世界に発信し続けたいと思います。藍染めのような伝統工芸を通じて、日本の素晴らしい文化を母国の人々に伝えることも私の使命だと感じています。

日本に来て4年間、多くの困難もありましたが、それ以上に多くの出会いと学びがありました。母を亡くした悲しみから始まった私の日本留学でしたが、今では自分の人生にとってかけがえのない経験となっています。これまで支えてくださった全ての方々への感謝の気持ちを胸に、これからも一步一步前進していきたいと思えます。日本で学んだ「一期一会」の精神を大切にしながら、新たな出会いと挑戦を楽しみにしています。

◎ニコニコボックス

田北会員、南会員、六車会員、西村会員、細川会員

◎次回例会

2025年 9月 11日 (木) 12:30 ~ 清月屋敷

◎次回プログラム

ガバナー補佐訪問

☆次の会員は例会欠席でした。

岡本会員・小野会員・兼西会員・上柿会員・木下会員・香西会員・佐藤順二会員・友成会員
橋本会員・秦会員・宮本会員・吉野会員

☆次回例会の出欠を 佐藤直樹出席委員長まで連絡してください。